

グローバル COE 航空宇宙流体科学サマースクール

2012 年度実施報告

2012 年 8 月 6 (月) – 8 日 (水)

浜名湖弁天リゾート ジ・オーシャン

東北大学グローバルCOEプログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」が主催となり、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）、北海道工業大学、東京大学、首都大学東京、静岡大学、名古屋大学、鳥取大学、九州大学の教員および院生の研究交流を目的としたサマースクールが開催され、50名以上の参加者が集まりました。東北大内のみならず、他の大学から講師をお招きし、特別講義およびJAXA、学生による発表とディスカッションを行いました。講師として、北海道工業大学から千葉先生、首都大学東京から金崎先生、東北大学から大谷先生と沼田先生、鳥取大学から川添先生をお招きしました。それぞれの講師陣から、新たな設計探査手法やハイブリットロケットの最適設計、流れ場の定量評価が可能な可視化手法、低レイノズル風洞での乱流制御、自動車エンジンの燃費改善事例など非常に幅広い内容にわたって最新の話題を提供していただきました。

今年のサマースクールは初参加の方が多く、前年度に引けを取らない参加者が集まり、3日間のあいだに48件の講演が行われました。実験や数値解析による最新の研究成果、専門分野外の内容など普段なら聞くことがない講演を聴講しました。また、予定の時間を超えてのディスカッションが行われるなど、非常に内容の濃いものでありました。さらに、自衛隊浜松基地の見学を行い、ユーザーが要求する航空機の性能と研究者が目指す技術課題には相違があることを肌で感じました。本サマースクールを通して、普段なら話を聞くことが困難なJAXAや大学の先生方と夕食の時間や深夜を利用し、研究に関わる議論ができました。このようなことは、通常の学会発表では得ることができない貴重な経験であり、学生達にとって非常に良い刺激になりました。

